

新型コロナウイルス感染症（COVID-19） Ai（死亡時画像診断）検査における留意事項

新型コロナウイルス感染症に罹患、またはその可能性のあるご遺体を病院等の施設で撮影する際、撮影者は以下のとおり、感染拡大防止に努めてください。なお、現状では科学的根拠が不十分である点を考慮し、適宜ご対応ください。

- ▶ 生体の場合と同じく院内の感染防止指針に従い、「スタンダード・プリコーション」と「感染経路別対策」を基本として対応すること。
- ▶ 特に飛沫接触感染に注意が必要であり、手袋、サージカルマスク、ディスポーザブルガウンなどを着用すること。なお、必要に応じてN95微粒子用マスクの着用も考慮する。
- ▶ 原則として診療時間帯での撮影は避け、診療時間後に対応すること。また、撮影室内の換気は十分に行うこと。
- ▶ 遺体を納体袋（ボディ・バッグ）などで密封し、遺体に直接接触することなく撮影することが望ましい。なお、バッグの外側にウイルスが付着している可能性もあるため、バッグが接触した撮影寝台、搬送スタッフが接触した部位などの清拭消毒（アルコール等）を必ず行うこと。
- ▶ 使用した手袋やガウンなどは汚染表面を素手で触れないよう適切な方法で廃棄すること。その後、抗菌性石鹼と流水にて手指を洗浄消毒するか、擦式消毒用アルコール製剤で消毒すること。

参照資料

- ▶ Autopsy imagingマニュアル 第2版 [ベクトル・コア] p.16-20
- ▶ Ai（Autopsy imaging：死亡時画像診断）における診療放射線技師の役割 -Ai検査ガイドライン- [日本診療放射線技師会] p.10

公益社団法人 日本診療放射線技師会
オートプシー・イメージング学会

（2020年3月10日）